

<b>科目名</b>	運動と健康（幼稚園教諭二種必修）				
<b>授業形態</b>	講義	<b>学年</b>	1		
<b>開講時期</b>	2023年度 後期	<b>単位数</b>	1		
<b>担当教員</b>	蓮沼 哲哉				
<b>内容および計画</b>	人間が生存し、活動する基礎となる身体的能力を「体力」と呼び、体力の構成要素である「身体」と「心」は、相互に関連して人間の発育発達や行動に深く関与しています。また、現代において、スポーツ・運動には競技のみならず健康増進、余暇時間の活用、高齢者等の生きがいなど多様なニーズが求められています。そのニーズに対して、スポーツ・運動が持つ意義や役割を理解していきます。そして、健康な心と体を育み、自ら健康で安全なライフステージをつくり出す力を養うために、心と身体を積極的に動かして生活したり遊んだりすることによる運動の必要性和、いつでも、どこでも、だれとでもスポーツを楽しみ、健康で豊かな生活を営むことができる能力が重要です。本講義では、子どもの健康を支える発達の特徴に応じた遊びや運動指導、各ライフステージでの環境整備について学びます。				
1	生涯スポーツを考える「運動・スポーツと健康、体力」				
2	「する・見る・支える」スポーツについて				
3	幼児期の運動発達の特徴				
4	遊びとしての運動の重要性				
5	運動発達に関連する環境				
6	多様性から考えるスポーツ・運動				
7	発育発達に応じた運動指導のあり方				
8	まとめ/到達度テスト				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
<b>教科書</b>					
	<b>タイトル</b>	<b>著者名</b>	<b>出版社</b>	<b>ISBN</b>	<b>発行年</b>
	幼児期における運動発達と運動遊びの指導	杉原隆/河邊貴子	ミネルヴァ書房	9784623070220	2014
<b>参考書</b>					
<b>成績評価</b>					
	<b>評価方法</b>	<b>割合(%)</b>			
	毎回授業の際のレポート	50			
	グループワークでの内容および発言や実践力	30			
	まとめの到達度テスト	20			

<b>学習到達目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ・運動が、幼児期の健康においてどのような役割をは果たしているか理解し、指導ができる。</li> <li>・各ライフステージの健康においてスポーツ・運動の重要性を理解し、生涯スポーツプランを立てることができる。</li> </ul> <p>S：学修到達目標を達成し、きわめて優秀な成績をおさめている（90～100点）  A：学修到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている（80～89点）  B：学修到達目標を達成している（70～79点）  C：学修到達目標を最低限達成している（60～69点）  D：学修到達目標を達成していない（～59点）  F：出席回数の基準などの成績評価対象とならない</p>
<b>先修条件</b>	特になし
<b>実務経験</b>	実務経験あり：高校保健体育科教員として10年勤務。大学教員として、生涯スポーツおよび子どもとスポーツについて指導。
<b>その他</b>	